



◆当面する重点作業

1. 長梢・中梢栽培の大枝、中枝を抜く時は周りの枯れこみを確認し、使える枝が少なくなり過ぎないように注意して剪定を行う。
2. 遅伸びによる登熟不足や弱樹勢の樹はねむり病が心配されるので、ワラ巻き等再度確認し徹底する。
3. 巻きひげの除去を行う。晩腐病・黒とう病対策。
特に「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」は黒とう病に弱いので注意する。

◆種なしぶどう（短梢）整枝剪定講習会開催について

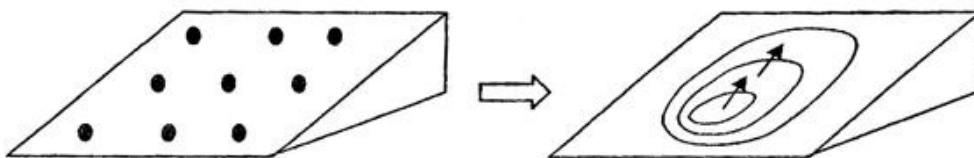
記日程により開催致しますので、都合のよい会場へご参加下さい。なお、剪定用具メーカー（アルス・マキタ・近正等）が、商品説明をする場合があります。

開催日	曜	集合時間	開催場所	担当
1月27日	月	午前11:00	千野 しげ子様園（川中島今井）	松橋
1月28日	火	午前 9:00	南沢ひろ江様園（下石川）	徳武・寺澤
		午前10:30	宮寄 正一様園（塩崎）	徳武・寺澤
		午後 2:00	小林 芳春様園（真島）	根津
1月29日	水	午前 9:30	萩原 久光様園（松代）	伊藤
		午前10:00	中村 奨 様園 ※車は東部流通センター南側駐車場へ	外谷
			宮澤 文広様園（綿内牛池前回と同じ園）	松沢
		午前11:00	中村 忠勝様園（東条）	伊藤
			安藤 周三様園（綿内）	松沢
午後 2:00	伊藤 哲也様園（保科）	松沢		

※中梢剪定については個別に対応致します。

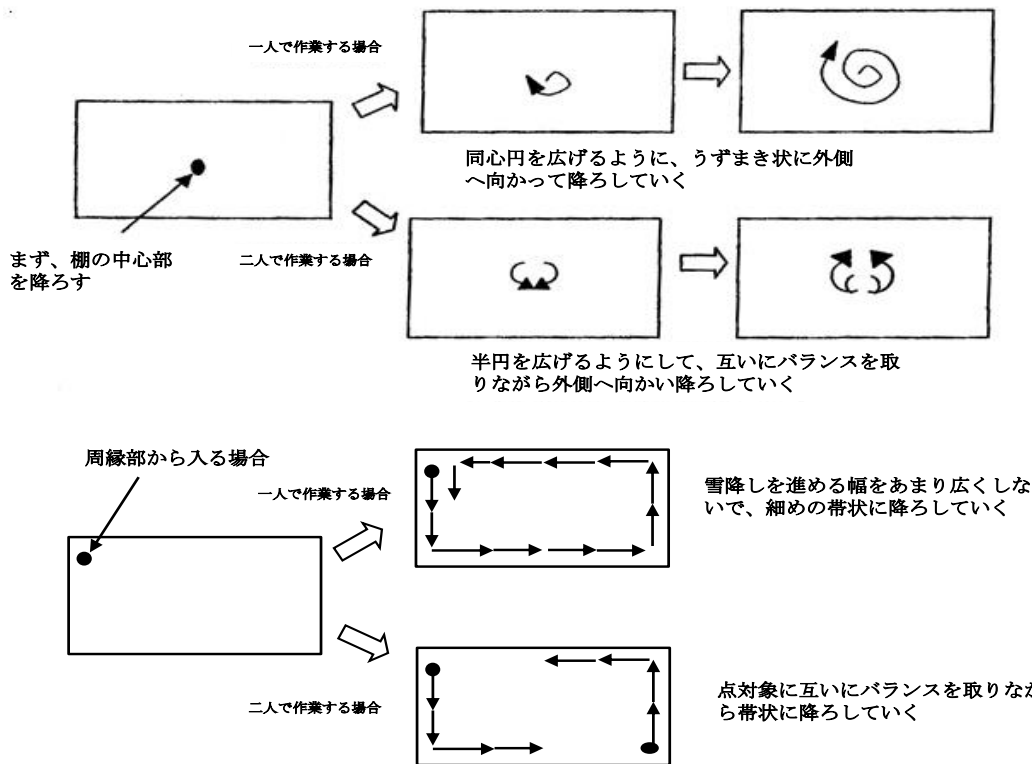
◆大雪対策について

1. 事前の準備
 - 1) 大雪になりそうな場合は支柱を増やす。
 - 2) 周囲の雪が付着しそうな網などを片付ける。
2. 大雪後
 - 1) こまめに雪を落とす。なお、作業は複数で行い連絡を取り合う。
 - 2) 湿った雪が多く降ると棚倒壊の危険性が増す。
平坦地の雪の降ろし方と傾斜地の雪の降ろし方の図を参考に棚面から雪を降ろす。



まず、全体に所々雪を降ろす

傾斜のやや下側から、徐々に楕円を広げるように降ろす



◆果樹棚の整備について

果樹を支える果樹棚は、資材の腐食や成長した果樹の重量等により歪みや棚線（ワイヤー）の伸びが生じる。大切な果樹を継続して支えるため果樹棚も手入れが必要。放置すると徐々に果樹棚低くなり作業し難くなる。台風などの突風による揺れが大きくなり落果被害が大きくなる。降雪（着雪等）などの加重負荷により最悪倒壊する恐れもある。

1. 整備の目的

果樹棚は果樹の成長に伴う重量の増加による継続的な負荷の増大。降雪による着雪や防風林の倒木などによる一時的な負荷の増大。棚線の障害（邪魔となり曲がっていた箇所）となっていた果樹の伐採等により、経年による緩みが発生する。これを補修することで果樹棚の機能を回復させる。

2. 主な整備作業

- 1) 果樹棚の低くなった部分を吊線で補強する。
- 2) 伸びた棚線、緩んだ棚線を張り直す。
- 3) 浮き上がったアンカーと支柱のワイヤーを張り直す。
- 4) 錆びた棚線の補修する。
- 5) 果樹棚の支柱を追加する。
- 6) 不要となった支柱を撤去する。